

第1回四国中央市子ども若者発達支援センター運営審議会 会議録

日時 | 令和4年7月7日(木) 13:30～

場所 | 子ども若者発達支援センター 研修室

出席者

[委員] (敬称略)

石川千代子、大西由美子、越智寛、加地彰子、河村英茂、近藤美沙、鈴木秀明、野本知津子、藤田昌子

[事務局]

発達支援課長 藤田泰

センター長 大西緑

- ▶ 管理係 長野敏秀、河村清児
- ▶ 総合相談係 石川考太
- ▶ 発達支援係 森美琴
- ▶ 児童発達支援センター 高橋美樹
- ▶ 東部子どもホーム 後藤鉄也

欠席者

[委員] (敬称略)

なし

傍聴者

なし

1 開会

細川部長 本審議会は昨年度の障害児等福祉審議会から新しい審議会として編成を改めている。委員の皆様の顔ぶれを見ると、大変心強く思う。
是非、良い議論をしていただきたい。

2 委嘱状交付

委員を代表して、越智委員に細川部長から委嘱状が交付された。

3 自己紹介

出席委員から、それぞれどのような立場でどのような仕事や活動をしているのかを紹介していただいた。

4 委員長・副委員長の選出

委員長に越智委員が、副委員長に鈴木委員が選任された。

5 議事

(1) 議事 1 審議会の趣旨等

- 事務局 《本審議会の趣旨等を説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
- 委員 法的根拠や位置づけ等の説明はあったが、趣旨とあるので子ども若者発達支援センターとしての目的や目標などについて、説明の必要はないか。
- 事務局 本審議会は子ども若者発達支援センターの運営を審議する会である。子ども若者発達支援センターとしての目的や目標などについては、この後の議事の中で説明する予定である。

(2) 議事 2 2021 年度事業報告

- 事務局 《事業報告を説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
- 委員 ことばの検査で療育につながった子の療育終了後のフォローについて、どのようになっているのか。
- 事務局 課題が改善されず就学にいたった子は、通級指導教室など小学校に引き継いでおり、対応をしていただいている。また、就学後も引き続き療育を利用している方もいる。
- 委員 ことばの療育が終了したが、何年かのちにかからだの療育が必要な子がいるという話を聞いた。どのような基準で療育を終了しているのか。気になるお子さんがいる時、相談支援専門員に引き継いでいるのか、流れが知りたい。
- 事務局 発達に課題のあるお子さんは、ことばだけでなく他にも課題のある場合がある。ことばの検査は構音について実施しており、構音の課題改善のつもりで療育に通っている親に対し、他の部分について提案することが難しい場合がある。何か園で困りごとがある場合は、個別支援計画の作成を勧めたり、園と連携させてもらっている。保護者や園に困り感がない場合は、対応が難しいので、細やかに見ていくように心がけている。
- 委員 せっかく就学前に気になることがわかっているなら、どうにかできないかと思う。あと、子ども若者発達支援センターには作業療法士がいるが、ことばのことしかしないのか。医療の作業療法士はことばのことしかしてくれないことが多いので、摂食など領域が増えれば、もっとパレットに相談しやすくなるのではと思い期待する。
- 委員 1つ目は、合同巡回相談について少し詳しく教えていただきたい。2つ目は、保育所等訪問支援について、市内には児童発達支援センター1カ所しか事業所がなく、児童発達や放課後等デイサービスを利用したいが、通所できないお子様について、園などに行って助言してもらえる大変重要な事業だと考えている。今後、利用希望があった場合、対応していただけるのか。

- 事務局 令和元年度までは、保護者からの依頼による巡回と園や学校からの依頼による巡回を同じ巡回相談として行ってきた。令和2年度からは、保護者からの依頼による巡回をパレット訪問相談、園や学校からの依頼による巡回を合同巡回として整理した。また、就学以降の合同巡回は学校教育課と就学前の合同巡回はこども課と一環した支援体制の整備・充実を図ることを目的に実施している。
- 保育所等訪問支援は大変重要なサービスだと感じている。ひとりひとり丁寧に対応していかなければならないが、人事異動等により専門スタッフの確保が難しい。できる限り対応していきたいのでご相談いただきたい。
- 委員 ニーズのあるサービスなので、相談することがあると思う。人材の確保など運営についてはご検討いただきたい。
- 委員 個別支援計画について、特別支援学校や事業所に行くところまで計画を作成することになり、個別支援計画が使われておらず、つながっていないように感じるが。また、個人情報の問題もあるが、個別支援計画で蓄積されたデータがいかにされているのか。
- 事務局 平成30年度の改訂作業の時に、生涯同じ書式での検討もなされたが、立場によって必要な項目が違うこともあり、生涯同じ書式での運用は難しいと話し合われた。しかし、個別支援計画にその時々計画を差し込むことにより、いつどのような支援を受けていたかわかるよう運用している。また、個別支援計画研修会などにおいて、個人情報に配慮しながら情報を伝えたり、グループワークを実施したりして情報の共有を行っている。
- 委員 市外の高校進学の時、パレットの職員が個別支援計画を直接引き継ぎに行ってくれたことにより、うまくいったケースがあった。
- 事務局 委員のおっしゃる通り、本人・保護者の希望により次の機関へ引き継ぐようにしている。
- 委員 不登校児童生徒数について、小学校から中学校では大幅に増加しているが背景や原因の分析はされているのか。
- 事務局 個人的には、中1ギャップと呼ばれる環境の変化や特性からくる不適応や家庭環境の問題などが原因と感じているが、ケースによって背景や原因はさまざまである。
- 委員 不登校だけではなく、事業報告には様々な数値がのっている。背景や要因などの分析結果についての報告があれば、より具体的に話ができると思う。

(3) 議事3 2022年度事業方針

- 事務局 《事業方針を説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
- 委員 具体的な施策については、パレット・プランに書かれているのか。
- 事務局 おっしゃる通り、パレット・プランの中に書かれている。計画は5年間なので委員の皆様から意見をいただきながら、運用していきたい。

(4) その他

①「パレット・レター第 35 号」について

事務局 《パレット・レター第 35 号の内容を説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

②令和 4 年度あったか子育てセミナーについて

事務局 《令和 4 年度あったか子育てセミナーを説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

③ペアレントメンターCafe について

事務局 《ペアレントメンターCafe を説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

④令和 4 年度障害児等審議会の開催予定について

事務局 《令和 4 年度障害児等審議会の開催予定を説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

4 閉会

委員長 第 1 回目とは思えないほど活発な意見が出て、よかったと思う。水不足や猛暑、コロナなど、健康な人でも体調を崩しやすい情勢ではありますので、敏感な人はストレスがかかっていると思う。次回も皆様元気に参加できることを願っている